

＜1. 原子炉および原子炉格納容器の状況＞（3/28 11:00 時点）

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.5 m ³ /h	15.1 °C	0.43 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	20.1 °C	5.66 kPa g	A系： 0.08 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 2.0 m ³ /h	17.7 °C	0.27 kPa g	A系： 0.09 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.6 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

＜2. 使用済燃料プール(SFP)の状況＞（3/28 11:00 時点）

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	14.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	24.7 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.8 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	10.9 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

＜3. 水処理設備および貯蔵設備の状況＞（3/28 11:00 時点）

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	停止中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

＜4. その他＞

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始
- 2016/3/25 19:42 多核種除去設備において、漏えい検知器が動作し、「多核種吸着塔Aスキッド3 漏えい」警報が発生。なお、多核種除去設備については、3/16 から停止し、高性能容器(HIC)の交換作業等を実施中。当社社員が現場を確認したところ、21:10 頃に当該漏えい検知器の付近に水があること、および多核種除去設備A系の吸着塔 6A 下部に設置してある配管のフランジから1秒に1滴程度の滴下があることを確認。なお、建屋内全体が堰構造となっており、漏えいした水は建屋外への流出はない。22:00 頃、水の滴下が確認された配管フランジについて増し締めを実施し、22:15 頃に滴下が停止したことを確認。なお、漏えい量は、漏えい検知用の升(約 20cm×20cm×深さ 5cm)、および床面の漏えい範囲(約 2m×3m×深さ 1mm)より、約 8 リットルと推定

漏えいした水の放射能分析結果については、以下のとおり

- ・ セシウム 134: 150 Bq/L
- ・ セシウム 137: 690 Bq/L
- ・ 全ベータ :19,000 Bq/L

上記の分析結果より、漏えいした水については、多核種除去設備の系統内の水と判断。なお、漏えいした水については、23:46 に回収作業を開始し、3/26 1:20 に終了。今後、漏えいした原因について、引き続き調査を実施

- ・2016/3/28 K 排水路について、排水先の港湾内への付け替えが完了

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から 24 時間連続運転に切り替え。
- ・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクCの分析結果[採取日 3/18]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、3/26 9:50～13:48 海洋への排水を実施。排水量は 579m³。
- ・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクDの分析結果[採取日 3/19]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、3/27 9:57～15:35 海洋への排水を実施。排水量は 823m³。
- ・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクEの分析結果[採取日 3/20]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、3/28 10:04～海洋への排水を実施。
- ・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクFの分析結果[採取日 3/22]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、3/29 海洋への排水を実施予定。

【地下水バイパスの状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/16]については、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/29 海洋への排水を実施予定。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- 3/1 に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔A11～17 の地下水を分析した結果、前回値(2/2 採取)の全ベータ放射能が ND (ND 値 22Bq/L)であったのに対し、最大で 200Bq/L に上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

＜最新のサンプリング実績＞

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き監視を強化するとともに全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。

以 上